

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成31年03月29日

計画の名称	連続立体交差事業による踏切事故・渋滞及び地域分断の解消												
計画の期間	平成26年度～平成29年度(4年間)										重点配分対象の該当	○	
交付対象	大阪府												
計画の目標	鉄道を高架化して踏切を除却する抜本対策を実施することにより、都市交通の円滑化を図るとともに、周辺市街地の生活環境や都市機能の向上・活性化を図るものである。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	262,201	A	262,201	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H26当初	H28末	H29末
1	踏切における踏切渋滞の解消 踏切遮断時間の解消 1日あたりの踏切遮断時間の減少 1日あたり踏切遮断時間= 除却対象踏切の1日あたり遮断時間 [踏切交通実態総点検結果(H19.4公表)] × 【除却済[0]、片側除却[0.6]、未完了[1]】	410H/日	322H/日	322H/日

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
・交通拠点連携集中支援事業創設に伴い、P37に移行								

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
												H26	H27	H28	H29	H30					
一体的に実施することにより期待される効果																					
備考																					
道路事業	A01-001	街路	一般	大阪府	直接	大阪府	S街路	改築	近鉄奈良線連続立体交差事業(若江岩田駅~東花園駅付近)	連立 L=3.3km	東大阪市						61,440	1.3	-		
	A01-002	街路	一般	大阪府	直接	大阪府	S街路	改築	大阪外環状線連続立体交差事業((仮称)柏田駅付近)	連立 L=2.2km	東大阪市							8,964		-	
	A01-003	街路	一般	大阪府	直接	大阪府	S街路	改築	南海本線・高師浜線連続立体交差事業(羽衣駅~高石駅付近)	連立 L=4.1km	高石市							55,788	1.1	-	
	A01-004	街路	一般	大阪府	直接	大阪府	S街路	改築	南海本線連続立体交差事業(松ノ浜駅~泉大津駅付近)	連立 L=2.4km	泉大津市							35,254	2.0	-	
	A01-005	街路	一般	大阪府	直接	大阪府	S街路	改築	京阪本線連続立体交差事業(香里園駅~枚方公園駅付近)	連立 L=5.5km	寝屋川・枚方市							99,800	1.2	-	

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H26	H27	H28	H29	H30			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-006	街路	一般	大阪府	直接	大阪府	S街路	改築	阪急京都線連続立体交差 事業(摂津市駅付近)	連立 L=2.1km	摂津市						955	2.9	-
											小計						262,201		
											合計						262,201		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 大阪府交通道路室で評価を実施	事後評価の実施時期 平成31年3月
	公表の方法 大阪府ホームページに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	鉄道高架化および踏切除却による抜本対策を着実に進めたことにより、都市交通の円滑化と周辺市街地の生活環境や都市機能の向上・活性化を図れた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
<ul style="list-style-type: none"> 平成30年2月2日より、新たな社会資本総合整備計画「連続立体交差事業による踏切事故・渋滞及び地域分断の解消（交通拠点連携集中支援）」に移行し、継続して事業を実施。 早期完成に向け着実な事業進捗を図っていく。 	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	1日あたり踏切遮断時間	
	最終目標値	322H/日
	最終実績値	322H/日